

# 西光寺だより

第一一五号 令和二年 三月一日発行

3月になりました。連日のコロナウイルス報道に一喜一憂し、国の小中高一斉休校措置など周囲への配慮に気をつけながらの日々であります。

目に見えない恐怖ではありますが、マスクの着用・手洗いうがい・日々の体温測定など気をつけながら、正しい情報を正しく受け止め一日一日を過ごすことであります。

また、このコロナウイルスの影響をふまえ、年度末の行事であります三月二〇日（金・祝）に予定している仏教婦人会総会・追弔会は、周囲の状況に鑑み、中止とさせていただきます。春季永代経法要の西光寺講追弔会と一緒に出勤めさせて頂きます。会計報告・行事報告は改めまして書面でご報告する予定です。ご了承よろしくお願い致します。

## ◆先月の報告◆

二月十二日（水）西光寺本堂にて摂津十二日講御消息披露法要を厳修致しました。五〇名近くの総代様、役員の皆様、婦人会の皆様、ご門徒の皆様、そして合同で行った常稱寺の皆さん、全員で富田の本照寺様・摂津十二日講役員の方々をお迎えし行いました。

西光寺におきまして八年に一度の法要。常稱寺様におきましては十二年に一度の法要をこうして皆様とお迎えし、共に勤めることが出来ました。

また急遽決まりました、司会の内容・仏教婦人会による開扉閉扉・総代警護の歩き方など、充分な練習も行わずに直前のご協力、感謝であります。

本照寺様のご法話にもありましたように、大阪にあった石山本願寺。念仏の信仰に結ばれた浄土真宗のご門徒の固い団結が統一の妨げになると考え、織田信長との十一年にもわたる本山護持の戦いにご尽力いただいた摂津の寺院とご門徒の皆さんを偲ぶ法要でありました。（最後は朝廷のご仲裁で和睦）その歴史があるからこそ今があるということ。繋がってきた歴史に、繋がってきたいのちを重ねながらの尊い時間でありました。

皆様本当にありがとうございました。

合掌



本願寺からの達書を組長より頂く。



皆さんで仏説阿弥陀経のお勤め。



本願寺歴代住職のお手紙を丁重に運びます。





開扉閉扉を仏教婦人会役員の皆さんで。



本照寺様より本願寺歴代住職のお手紙三巻とご法話を聴聞致しました。



後片付けと次の会所の善永寺様への引き継ぎ。

### ◆三・四月の行事◆

三月 二〇日（金・祝）

仏教婦人会総会・追弔会

午前十一時三十分から追弔会（正信偈）

午後十二時 お斎

午後一時 総会

西光寺本堂

・四月 四日（土）

春季永代経法要

午後二時・七時

西光寺本堂

◎御講師 本願寺派布教使 宮部 誓雅 師

※なお、追弔会は午後一時三〇分より厳修致します。

浄土真宗本願寺派 白毫山 西光寺

大阪府茨木市西河原一―七―二

電話 〇七二―六二二―四七九四

FAX 〇七二―六二二―九二九一

<http://www.osaka-saikouji.net/>